

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、軟調な商品市況や保護主義台頭の懸念からレアル売りが優勢となり、一時3.24台後半までレアル安が進行。商品市況については、中国が本日、2月貿易統計を公表しており、輸出がドルベースで前年比44.5%増と急増を示す一方、輸入が6.3%増と鈍化したため、コモディティに連動やすい通貨にはややネガティブな結果となった。また、格付会社Moody'sが経常赤字の拡大と外部ショックへのリスク上昇を要因に、トルコを「Ba1」から「Ba2」へ格下げしたこと、新興国通貨のセンチメント悪化につながっている。トランプ大統領が公表した鉄鋼・アルミニウム輸入への高率関税導入について、サンダース報道官は、「国家安全保障上の判断に基づき、関税の適用を除外する国があるかもしれない」と発言。ムニューシン財務長官も、「ホワイトハウスが関税賦課案の適用免除を検討している」と明らかにした。その後、米国家通商會議のナバロ委員長は、「カナダとメキシコが米国の要求を満たす新たなNAFTA合意に調印すれば、両国からの輸入は関税の対象外となる」と述べている(ブラジルは現状、免除対象とはならない見込み)。

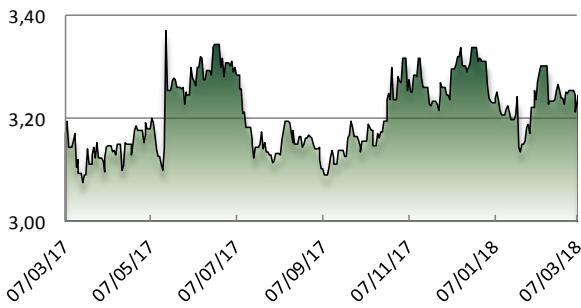
NYを訪問しているMeirelles財務相は昨日、記者団に対して、「燃料税の制度を変更することが可能か、検討している」と発言。現在の制度は、価格そのものに税率を賦課しているため、価格自体が下がれば税収も比例して下がってしまう。そのため、「そのような影響を避ける制度への変更を模索している」と述べた。

マーケットデータ

Indicator		Unit	3月6日	3月7日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,2110	3,2437	1,02%	-0,84%	3,1210	3,3182
	対円	JPY	33,05	32,68	-1,12%	-2,22%	35,13	32,25
	対ユーロ	BRL	3,9831	4,0262	1,08%	0,23%	3,8531	4,0785
円	対ドル	JPY	106,13	106,07	-0,06%	-2,98%	105,25	113,39
	対ユーロ	JPY	131,64	131,64	0,00%	-1,83%	129,35	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		85.653	85.484	-0,20%	3,28%	88.318	76.403
CDS Brazil 5yrs	bps		150,20	152,02	1,21%	0,11%	188,62	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		9,49	9,54	0,53%	-2,25%	10,07	9,47
DI Future Jan19 (金利先物)	%		6,46	6,45	-0,15%	-5,22%	6,94	6,44
3 Months US Dollar Libor	%		2,0473	2,0473	0,00%	13,75%	2,0473	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		196,76	194,44	-1,18%	1,09%	201,19	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

